



5色の千羽鶴がモニュメントに！

(東京 2020 オリンピック機運醸成事業)

公益財団法人横浜市体育協会（以下、横浜市体育協会）では、横浜市のスポーツ・青少年施設を会場に、東京 2020 オリンピック開会 1000 日前の 10 月 28 日（土）『**1000 日前に千羽鶴を作ろう！～1000 Days to Go！**～』を開催し、6000 人以上の方にご参加いただきました。作成された鶴は、1964 年東京オリンピックの競技会場となった横浜文化体育館のフロアで、**大きな「2020」年モニュメントを作り、日本の文化で世界に向けて東京開催を盛り上げます！**御社のメディアで、ぜひお取り上げください。

【日時】

平成 29 年 12 月 20 日（水）10：00～15：00

※モニュメント完成は 13：30 頃の予定です

【概要】

1000 日前イベントで横浜市民や来場者の方が作った五輪カラーの鶴・約 35,000 羽を使い、体育館フロアに 10m 以上の「2020」モニュメントを作成。撮影した「2020」を開催施設でパネル展示するほか、SNS で世界に向けて発信します。なお、モニュメント作成後の千羽鶴は開催施設に飾ります。

～ねらい～

IOC オリンピック憲章は開催都市に文化的なプログラムの実施を義務付けており、東京 2020 アクション&レガシープランでは**スポーツと文化の連携**が謳われています。1964 年大会の会場となった横浜文化体育館において、日本を代表する文化「千羽鶴」を用いたモニュメントを作成することで、開催国・日本文化の再認識とスポーツの祭典が自国で開催されることへの機運醸成をねらいとします。

【会場】

横浜市中区不老町 2-7 **横浜文化体育館**

（指定管理者：横浜市体育協会・ミズノ共同事業体）

アクセス：JR 京浜東北線・横浜市営地下鉄関内駅南口から徒歩 5 分

※当日は休館日のため、取材の方は事務所側入口にお越しください

【1000 日前イベントの実績】

実施日時：平成 29 年 10 月 28 日（土）

会場：横浜市施設 38 カ所（裏面に記載）

来場者数：6,753 人

作成した鶴：35,600 羽

千羽鶴になった折鶴はモニュメント作成までの間、各会場に掲示しました。

<掲載メディア>

新聞社 3 紙、ウェブニュース 5 社にお取り上げいただきました。

青・黒・赤・黄・緑のオリンピックカラーで作成します！



1964 年バレーボール競技会場となった横浜文化体育館



1000Days to Go!開催会場の様子



■お問い合わせ先・取材受付（取材を希望される報道機関の方は、下記までお問い合わせください）

公益財団法人横浜市体育協会 地域スポーツ振興部長 森田 尚隆 電話 045-640-0015

裏面あり

[1000 日前イベントの実施会場]

横浜市鶴見スポーツセンター	横浜文化体育館
横浜市神奈川スポーツセンター	横浜市平沼記念体育館
横浜市西スポーツセンター	横浜国際プール
横浜市中スポーツセンター	横浜市鶴見川漕艇場
横浜市南スポーツセンター	横浜市少年自然の家南伊豆臨海学園
横浜市港南スポーツセンター	横浜市少年自然の家赤城林間学園
横浜市保土ヶ谷スポーツセンター	横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター
横浜市旭スポーツセンター	横浜市くろがね青少年野外活動センター
横浜市金沢スポーツセンター	横浜市こども自然公園青少年野外活動センター
横浜市港北スポーツセンター	横浜みなとみらいスポーツパーク
横浜市緑スポーツセンター	横浜銀行アイスアリーナ（神奈川スケートリンク）
横浜市都筑スポーツセンター	旭プール
横浜市青葉公会堂及び青葉スポーツセンター	栄プール
横浜市戸塚スポーツセンター	保土ヶ谷プール
横浜市栄公会堂及び横浜市栄スポーツセンター	都筑プール
横浜市泉スポーツセンター	リネツ金沢
横浜市瀬谷スポーツセンター	根岸テニスガーデン
横浜市磯子スポーツセンター／いそご地域活動ホームいぶき	緑テニスガーデン
たきがしら会館	泉中央テニスガーデン